

平成23年度 京都府立東舞鶴高等学校浮島分校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

平成23年 4月

学校経営方針（中期経営目標）	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>★ 中丹地区の夜間定時制高校として、地域に根ざした教育活動を推進する。</p> <p>1 学習指導・進路指導・生徒指導の3つを一体的にとらえ、生徒一人一人にきめ細かい丁寧な指導を行うことにより学力を向上させ、希望進路を実現させる。</p> <p>2 生徒一人一人が家庭・地域社会で認められ、学校生活の様々な場で成就感・達成感を持てる学校を目指す。</p>	<p>（成果）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 演習プリントの活用等により、基礎・基本を繰り返し指導することができた。 2 校内漢字テストに意欲的に取り組む生徒がみられた。 3 二足制は生徒への呼びかけ等により一歩前進した。 4 面談週間等により、積極的に個々の生徒とコミュニケーションを取ることができた。 5 トータルサポートセンターと効果的な連携が図れた。 <p>（課題）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒による美化活動の取組 2 ICT機器の効果的な活用 3 生徒への規範意識を身につけさせる効果的な指導 4 図書室の効果的な活用 5 進路コーナーの一層の充実 6 食生活全般の改善に向けた指導 	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎・基本を習得させるきめ細かな学習指導の充実 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育内容の精選・教材の創意工夫を図り、より丁寧な「わかる」授業を行う。 (2) 検定試験や資格取得への積極的な参加を促す。 (3) 授業に集中できる学習環境を整備する。 2 コミュニケーションを大切にした進路・生徒指導の充実 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒理解を深めるため、カウンセリングマインドに基づいた個人面談・対話等を重視する。 (2) 人権尊重の精神の育成、規範意識の向上に取り組む。 3 生徒一人一人の個性を尊重した教育活動の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒の参加意欲を高める学校行事・生徒会活動を工夫する。 (2) 部活動の活性化を図る。 (3) 個に応じた適切な支援を行う。 4 家庭・地域から信頼される学校づくりの推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 家庭訪問等により保護者との連携を密にする。 (2) さまざまな機会を通じて情報提供を行うなど地域との連携を図る。

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価		成果と課題
基礎・基本を習得させるきめ細かな学習指導	「わかる授業」の工夫	<p>シラバス・年間学習指導計画を効果的に活用する。</p> <p>ワークブック・小テストの活用や身近な話題の教材化などにより生徒の学習意欲を高める。</p> <p>義務教育段階での基礎・基本を身につけさせる授業展開を行う。</p> <p>ティームティーチングにより1年数学の基礎・基本を定着させる。</p>			
	検定試験や資格取得に向けた学習	<p>希望者には個別指導を行い、英検、数検、簿記検定やパソコン検定にチャレンジさせる。</p> <p>全員がワープロ4級以上の技術習得を目指す。</p> <p>校内漢字検定において全員を4級レベルに到達させる。</p>			
	授業に集中できる学習環境の整備	<p>教室の空気・照明検査を2学期中に行い、学習環境を改善する。</p> <p>授業中の私語や携帯電話についての指導を徹底する。</p> <p>週1回（水曜日）は生徒・教師が共に美化活動を行う。</p>			
	ICT機器の活用	<p>視覚的に理解できるようプロジェクター等を効果的に活用する。</p>			

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題
コミュニケーションを大切に した進路・生徒指導	集団生活におけるマナーの 向上	<p>事あるごとに生徒に声掛けをし、いつでも話のできる関係を築く。</p> <p>-----</p> <p>生徒指導重点日（木曜日）を効果的に運用する。</p> <p>-----</p> <p>「ベルで始まり、ベルで終わる」授業を行い、規律ある集団生活を行う。</p> <p>-----</p> <p>二足制定着に向け、毎日登校時指導を行う。</p> <p>-----</p> <p>毎日の校内巡視等により継続的に指導する。</p>		
	食育の指導	食生活アンケートを行い、食生活全般を見直す機会をつくり、給食の喫食率を上げる。		
個性を尊重した教育活動	生徒会活動・学校行事の工夫	<p>生徒が主体的・意欲的に取り組める学校行事・生徒会活動を行う。</p> <p>-----</p> <p>生徒数減少に対応した体育祭の在り方を見直す。</p>		
	部活動の活性化	様々な場面で声掛けを行い、部活動への参加を働きかける。		
	個に応じた適切な支援	<p>支援の必要な生徒に個別の指導計画を作成する。</p> <p>-----</p> <p>年間をととしてトータルサポートセンター等と効果的に連携する。</p>		

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具 体 的 方 策	評価		成果と課題
信頼される学校づくり	家庭・地域との連携	<p>家庭訪問等により、保護者との連携を密にする。</p> <p>-----</p> <p>さまざまな機会をとおして情報提供を行うなど活発な広報活動を行う。</p> <p>-----</p> <p>週1回をめどに体育施設を地域に開放する。</p>			
	中学校との連携	中高連絡会をはじめ中学校との連携を密に取り、双方向の情報交換を行う。			
	ホームページの積極的活用	月に1回以上はホームページを更新し、タイムリーな情報を発信する。			
次年度に向けた改善の方向性					